

平成19年度八王子市国民保護協議会 議事録(抄)

- 1 日 時 平成20年2月26日(火曜日)14:00~15:00
- 2 場 所 八王子市役所議会棟5階 全員協議会室
- 3 次 第
 - 1 開 会
 - 2 議 事
 - (1) 八王子市国民保護計画の策定及び公表等について
 - (2) 避難実施要領のパターン化について
 - 3 閉 会
- 4 出席委員数 48名
- 5 議事録

開会

荒木防災課長

お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただ今から、平成19年度八王子市国民保護協議会を開催させていただきます。私は司会を務めさせていただきます、防災課長の荒木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

<配布資料確認>

<委員紹介(名簿・席次表配布による)>

それでは早速、議事に入らせていただきます。議事につきましては、会長であります、黒須市長が務めさせていただきます。それでは、市長よろしくお願いいたします。

議事

黒須会長

皆さんこんにちは。市長の黒須隆一でございます。本日は、お忙しい中、八王子市国民保護協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。八王子市国民保護計画におきましては、昨年3月に策定をさせていただいたわけですが、計画の作成にあたりましては、皆様のご協力を賜りましたことをあらためて厚くお礼を申し上げます。

また、本協議会は、約1年ぶりの開催となっておりますが、本日はこれまでの経過などを報告させていただきますとともに、市が行います国民保護措置の中でも重要な位置を占める「避難誘導」につきまして、その具体的なパターンに対する皆様のご意見を頂戴したいと考えてお

りますので、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、次第に従いまして議事のほうを進めさせていただきます。まず、議題1の「八王子市国民保護計画の策定及び公表等」につきまして、事務局より報告をさせていただきます。

荒木防災課長

<八王子市国民保護計画の策定及び公表等について>
資料に基づき説明

黒須会長

ただいまの報告に対しまして、何かご意見・ご質問等ございましたらご発言いただきたいと思います。

(会場 意見なし)

黒須会長

よろしゅうございますか。それでは、次に進めさせていただきます。続きまして、議題2の「避難実施要領のパターン化について」でございます。こちらにつきましては、事前に資料を送付させていただいており、皆様ご覧いただいているとは存じますが、事務局より簡単に内容についてご説明をさせていただきます。

荒木防災課長

<避難実施要領のパターン化について> 資料に基づき説明

黒須会長

このような事態にならないことを祈っているわけですが...。ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問等を頂戴したいと存じますが、前もって陸上自衛隊さんから、ご意見がある旨をお伺いしておりますので、まず、田中委員からご発言いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

田中委員

陸上自衛隊の田中でございます。12ページの(9)安全の確保ウ項において、「誘導を行う市職員に対して、特殊標章及び身分証明書を交付し、必ず携帯させる。」とありますが、特殊標章を欄外の印等で明確に記載したほうが良いと考えます。

理由といたしまして、国際法上の特殊標章には、第3ジュネーブ条約第4条等に見られる民兵隊・義勇軍の構成員を示す特殊標章、また、ジュネーブ条約第1追加議定書第66条等に見られる文民の避難所や民間防衛要員等が使用する特殊標章があります。このモデル避難実施要領の条項に出てくる特殊標章は、明らかに誘導員の文民であることを識別

するために装着しているので、非戦闘員であることを明確にするためには、ジュネーブ条約第1追加議定書第66条で示されているオレンジ色地に青色の正三角形の特殊標章であることを明記した方が安全確保上、ベターと考えます。以上です。

黒須会長

ありがとうございました。ただ今のご意見について、事務局いかがですか。

荒木防災課長

ただ今、田中委員から発言があったのは、この標章でございます。

<特殊標章の見本を掲示>

これが、国民保護計画の最初のページにも示してございますけれども、特殊標章というものです。これを避難誘導員は常に携行することによって、正規軍という前提ですけれども、ジュネーブ条約に従って腕章をするなり、あるいはシール状のものをヘルメットに張るなりの対応をとることが避難誘導の安全にもつながるということでございますので、避難実施要領のパターン化の中で明記させていただきたいと考えます。

黒須会長

田中委員よろしゅうございますか。よろしいですね。それでは、ほかにご意見・ご質問等ございますか。

はい、消防署の上條警防課長どうぞ。

八王子消防署長代理・上條警防課長

八王子消防署の上條でございます。消防署におきましても、避難住民の誘導は大変重要なものでありますので、市との連携を確保するためにも、消防との連携に関する記述を基本的事項に盛り込んでいただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

黒須会長

事務局、この点についてはいかがですか。

荒木防災課長

全体の中で、参考として国の基本指針の抜粋は載せてございますけれども、消防署等の連携の部分での避難誘導、八王子市消防団・八王子消防署の連携について記載がないということですので、これは基本的事項の中に明記していきたいと考えます。

黒須会長

はい。ほかになにかご意見・ご質問等ございましたら、ぜひご発言をいただきたいと思えます。

はい、どうぞ。

飯沢委員

トラック協会の飯沢と申します。この文面の中に「NBC」という言葉が良く出てくるんですけども、国民保護計画の本文の中では、化学物質等と説明が書いてあると思うのですが、できれば、この実施要領にも枠の外の 印か、あるいは最初に出てきた「NBC」のところに括弧して説明を加えておいたほうが、私も分かりやすいですし、市民の方も分かりやすいと思いますので、ご検討をお願いします。

黒須会長

もっともなご意見だと思いますので、そのようにさせていただきます。ほかにございませんか。

(会場 意見なし)

黒須会長

ほかにはないようでございますが、せっかくの機会でございますので、議題以外の意見や情報等も頂戴したいと存じますが・・・そうですね、まず、市では組織が大きく変更になった点がございまして、本市は昨年の4月に保健所を設置をいたしております。それ以前は、保健所長は本協議会の委員でもあったわけですが、ここらへんについて、健康福祉部長、簡単に報告願います。

岡部委員

今、市長からのお話しにもありましたけれども、八王子市は昨年の4月1日に保健所政令市に移行しています。それまで行ってきました業務運営というのは、従来、東京都が行ってございましたけれども、それが八王子市に実施主体が変わっております。保健所には、現在保健担当部長がおりますけれども、これはドクターが担っております。

現在、保健所では、市民の健康ですとか安全の確保といった観点から、文字通りその健康対策ですとか、そのほかにも感染症対策、食品衛生、医事薬事こういったところの分野、いわゆる危機管理的な対策も保健所が担っております。そういった業務を担っているんですけども、19年の保健所政令市への移行を受けまして、各業務が地域の実情にあったような対応ができるよう、八王子市の保健所として取り組んでおります。

今回の国民保護の関係にも影響があると思いますけれども、例えば災害が発生をしたときの行政としての対応を考えたときに、保健所政令市に移行したことを受けまして、災害時要援護者の避難ですとか、かたや救護といった災害対応が行えるよう、マニュアルの見直しを行っております。ですので、国民保護に関連した措置につきましても、見直し後のマニュアルを基本にしまして的確な対応ができるような整備をしていきたいと、保健所政令市の移行を受け、そういう取り組みを含めまして対応しているところでございます。以上です。

黒須会長

はい、ありがとうございました。ほかにご意見あるいは情報等ございましたら、ぜひご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

はい、八王子警察署長代理の櫻井警備課長お願いいたします。

八王子警察署長代理・櫻井警備課長

せっかくの機会ですので、高尾・八王子両警察署を代表いたしましてテロ対策に対する警察の取り組みについてご説明申し上げたいと思います。警視庁では2001年9月11日の米国における同時多発テロ事件以降、国際テロ対策を重要施策のひとつとして掲げ、推進してまいりました。とりわけ本年は、ご案内のとおり7月の北海道洞爺湖サミットに向けまして、ただ今全庁一丸となってさまざまな対策に取り組んでいるところでございます。

このテロ対策の要諦と申しますのは、何といたしましても未然防止にありまして、このため警察では管内のきめ細かな実態把握でありますとか、テロ関連情報の収集・集約を進めるとともに、重要防護対象や近年国際テロの標的として狙われる傾向が強い公共交通機関などの、いわゆるソフトターゲットに対する警戒強化を実施しているところであります。

また、限りある警察の力だけでテロを未然に防止していくということは、到底不可能でありますので、関係機関や民間事業所、地域の町会・自治会といった多方面の皆様との協力を得るべく、警備セミナーを開催するなどいたしまして、テロに関する情報や意識の共有を図っているところでございます。

さらに万一、爆発物やNBCによるテロが発生した場合に備えまして、主要駅や大規模集客施設等において、管理者側との合同による初動措置訓練等を実施いたしまして、官民一体となったテロ対策に取り組んでいるところでございます。今後も、本日お集まりの皆様をはじめ、地域社会の皆様との人的あるいは社会的ネットワークを一層強化・拡大しまして、八王子のまちでは絶対にテロを起こさせないという決意のもとに各種対策に取り組んで参る所存でございます。

最後になりますけれども、これはお願いになりますが、これからサミット本番に向けまして、各警察署からは署員の約半数にあたる警察官が警備のために召集されまして、いずれかの地域で警備に従事することになります。後方治安につきましては、残った署員でしっかり守って参りたいと考えておりますけれども、どうかこの間、安全・安心なまち東京を実現するための警視庁のいろいろな施策に対しまして、これまで以上のご理解・ご支援・ご協力を賜りたいと思うところでございます。

簡単ですが、以上で説明を終わります。

黒須会長

貴重なご意見、ご報告を含めてですけれどもありがとうございました。

警察署の半数の方がテロの警備に就かれるということですから、これはやっぱり大変な事態だということを感じさせていただきました。

ほかに何か情報等ございましたらお願いしたいと思います。

はい、飯沢さん。

飯沢委員

18ページの「弾道ミサイルの攻撃の場合」の住民は屋内に避難するのが基本となっているその後の括弧の部分なんですけど、八王子市の場合に例えば地下街ですとか、いろいろ建物の地下がどの程度どうなっているのか、耐震構造ではないんですけども、どの程度に深さにあってとか、都内の地下とは違うような気がします。やたらと地下に避難させて崩れて生埋めになってはいけないので、先ずはそのへんも調査していかないと、いかなものかという感じがしました。どこでもよいと言うのではなく、地上から例えば八王子市内の八日町駐車場も何メートルぐらいのところにあるということは、私もわからないんですけども、あの程度で大丈夫なのか、かえって危険ではないのかなという気がしました。以上です。

黒須会長

なかなかこれは難しい問題ですね。弾道ミサイルが飛んできたときにどこが安全なのかということ判断するのは難しい問題だろうなと思いますし、また、地下も例えば京王八王子駅とかですね、あるいは地下駐車場とかいろいろありますけれども、それがどの程度持ちこたえられるものか、そこらへんは難しい問題だと思いますので、検討課題とさせていただきます。

ほかにありますか。

どうぞ、上條警防課長。

八王子消防署長代理・上條警防課長

先ほどから、NBC災害という言葉が出ておりますので、所管する消防として若干ご説明を申し上げたいと思います。皆さんご存知のとおり、NBCの中でN災害と言われますが、これは放射線による災害ということで、原子力施設あるいは放射線の管理区域内の火災、あるいは被曝、漏えい等を言っております。過去の災害においては、平成11年の9月に茨城県東海村のJOCの臨界事故がございました。

次にB災害であります。生物剤による災害ということで定義されており、これは病原菌等 例えば炭疽菌ですとか天然痘とかですね、これらに曝露して感染し、発病するというものでございます。平成13年にアメリカで炭疽菌の事件がございました。

C災害につきましては、化学物質による災害ということでございまして、有害化学物質、危険物あるいは毒劇物等、これらの曝露により傷者が発生するものと言われております。代表的な災害につきましては、皆様ご存知のとおり、平成6年6月に松本サリン事件、そして翌年の3月

に地下鉄サリン事件がございました。また、平成16年3月には大学実験室の臭素の漏えい事故がございました。

八王子市内におきましては、昨年12月に産業廃棄物の処理施設からアンモニアガスが発生いたしまして、重傷が1、中等症が5名という事故がございました。これに専門部隊も日野あるいは三本部ハイパーからも計、当署の隊も含めまして15隊が活動しております。

昨年1年間のNBC災害、東京消防庁管内でありましたのは261件ということで、18年が271件ですから若干は減っておりますが、だいたいこのような感じで推移しております。

そして現在、東京消防庁でどのような専門部隊があるかと申しますと、先ほど少し触れましたが、第三消防方面本部に化学災害の特殊部隊といひまして、ハイパーレスキュー隊が1隊、そして化学機動中隊と申しまして各方面にございますが9隊あります。近くでは、日野、東村山、そして三鷹にございます。今、三本部のハイパーレスキュー隊につきましては、さらに迅速出場をするために、ヘリを使って都庁の屋上からどこでも飛んでいくという体制を、3月3日からとるということになっております。若干、NBCにつきまして触れさせていただきました。以上で終わります。

黒須会長

ありがとうございます。大変勉強になりました。

ほかに何かご発言ございますか。こういう機会でございますので、ぜひご発言いただけたらと思っております。

(会場 意見なし)

黒須会長

とくにございませんか。それでは、貴重なご意見・情報等、大変ありがとうございました。これらを踏まえまして、最終的なモデル避難実施要領を作成をし、また、完成したものを皆様に送付させていただきたいと思っておりますので、その節はよろしくお願を申し上げます。本日の議事は以上となりますが、よろしゅうございましょうか。

閉会

黒須会長

それでは、これもちまして、協議会を終了とさせていただきます。お忙しいところありがとうございました。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。